【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第４区分
【発行日】令和3年4月30日(2021.4.30)

【公開番号】特開2018-176728(P2018-176728A)
【公開日】平成30年11月15日(2018.11.15)
【年通号数】公開・登録公報2018-044
【出願番号】特願2018-50872(P2018-50872)
【国際特許分類】
Ｂ４１Ｊ　3/407　(2006.01)
Ｂ２５Ｊ　15/08　(2006.01)
Ｂ４１Ｊ　2/01　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ４１Ｊ　3/407
Ｂ２５Ｊ　15/08　Ｓ
Ｂ４１Ｊ　2/01　１０９
Ｂ４１Ｊ　2/01　３０５

【手続補正書】
【提出日】令和3年3月12日(2021.3.12)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
ユニバーサル物体ホルダーであって、
支持固定具と、
シャフト上に取り付けられた複数の適合性把持球体であって、その中に粒子を含む、適合性把持球体と、
あるパターンの穴を中に含む２部品の背板であって、前記複数の適合性把持球体の前記シャフトが、前記背板内の前記穴を通って直行方向に延在し、前記複数の適合性把持球体を、物体と係合し、また係合から外れるように、水平に移動させるために、前記背板内で深さ調節をするように構成される、前記支持固定具に接続された２部品の背板と、
前記２部品の背板の前記２部品の一方から他方に接続しそれらの間に位置付けられ、且つ、前記背板の前記２部品を力によって付勢するよう構成される、ばねと、
前記粒子が物体の表面の輪郭を形成するように緩み、自由に移動するように前記複数の適合性把持球体の中に正圧を適用するように構成され、前記適合性把持球体内の前記粒子が硬質になり、前記物体を把持するように前記複数の適合性把持球体に真空圧をその後に適用するように構成される、圧力源と、
前記支持固定具に接続され且つ前記物体が前記複数の適合性把持球体によって把持されるように上に設置されているステージング棚と、を備え、
前記支持固定具が、さらなる加工のために所定の平面内の前記物体の場所を確実にするように構成された基準板を含む、ユニバーサル物体ホルダー。
【請求項２】
前記複数の適合性把持球体が、前記２部品の背板内の前記パターンの穴のうちの選択された穴内に前記シャフトを位置決めすることによって物体の形状に従って前記２部品の背板内の前記パターンの穴に位置付けられるように構成される、請求項１に記載のユニバーサル物体ホルダー。

【請求項３】
前記適合性把持球体の前記シャフトが移動することを防止するように操作されるよう適合された係止レバーを含む、請求項２に記載のユニバーサル物体ホルダー。